

一九二番

朝日照る あさひて 佐田の岡辺に さだをかへ 鳴く鳥の なとり 夜泣きかへ
らふ とし この年ころを

一九三番

はたこらが よるひる 夜昼といはず 行く道 ゆみち を 我 われ はこと
ごと みやち 宮道にぞする